



校章いとぐるまの入ったスタンドグラス



卒業式の前に飾られたおひなさま



整然と机が並ぶ被服実習室



大妻祭ファッションショーでの優秀作品



第 44 号

《発行》
 函館大妻高等学校
 同窓会
 「いとぐるま」編集部
 〒040-0002
 函館市柳町14番23号
 電話 (0138) 52-1890
 FAX (0138) 52-1892
 印刷 (有)三和印刷



同窓会会長
 平田 優子
 S55年卒業(旧姓若山)

うららかな日差しの中、木々の芽吹きや小鳥のさえずりに春の訪れを感じる季節となりました。同窓生の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。昨年から猛威を奮い続ける新型コロナウイルスは一向に収まる気配を見せず、以前とは違う日常に戸惑いを覚えながらも感染防止を念頭に置いて過ごした一年でした。

母校もコロナ禍の中で、「大妻祭」や「修学旅行」などの行事を中止せざるを得なくなり、その苦渋の決断をされた先生方の心情と、高校生活最大の楽しみを奪われた生徒さん達の無念さと思うと本当にお気の毒でなりません。また、来年度の新入生数にも影響があるようで、相次ぐ高齢者施設におけるクラスターの発生や飲食業界の苦境を反映して、福祉科と食物健康科の入学者が減少したと伺っております。

同窓会活動においても同じで、五月の札幌支部会・六月の東京支部会の中止、

七月の本部同窓会総会・親睦会も中止となりました。総会に代わる常任幹事・幹事会を開催することもままならず、書面にて会務報告・決算報告・予算案をご承認いただいた次第です。この状況下、役員だけでもできる活動として、「母校新入生へのマスクのプレゼント」と会報「いとぐるま」の発行を行いました。例年、「いとぐるま」の発送作業には有志の皆さまにもお手伝いをお願いしておりますが、密を避けるために各役員が自宅に持ち帰り発送作業を致しました。月に一度、楽しく語らいながら手仕事をしてきた「手づくり会」もまた再開の目途は立っていませんが、会の皆さまには再開のその時まで自宅でこつこつと作品づくりに励んでいただき、また一緒に活動できる日を楽しみにお待ちしておりますようお願いいたします。

同窓会の長い歴史の中でも初めてのことで何ができるのか、何をなすべきなのかを模索する日々が続きますが、まずは人命を第一に、新型コロナウイルスの予防接種が行き渡り治療薬が開発される事を切に願っております。同窓生の皆さまと共に「不撓不屈の大妻魂」でこの難局を乗り切り、一日も早く元気な笑顔にお会いできる日を夢見て頑張りたいと存じます。令和五年の母校創立一〇〇周年の御慶事には笑顔の花で満開になりますようにと祈念して挨拶とさせていただきます。



コロナに明けてコロナに暮れて

学校 校長 池田 延己
同窓会名誉会長

昨年は新型コロナウイルスに明けてコロナウイルスに暮れた一年でした。皆さんも、マスク着用や三密回避、ソーシャルディスタンス等、制約の多い毎日をお過ごしのことと思います。

振り返ってみれば、道内で感染者が初めて確認されたのは昨年一月二十三日で、札幌雪まつりに中国武漢市から来道した観光客でした。その後、二月十九日に七飯町でも感染者が確認され、二月末には二日連続十名以上の新規感染者が出て、鈴木知事は北海道独自の「緊急事態宣言」を発令しました。国による「休業要請」が発出されたのは三月二日でした。結果、三月三日に挙行された高校生活最後の思い出、卒業証書授与式は卒業生と先生だけの寂しいものになりました。

四月七日、安倍首相が突如「緊急事態宣言」を発出しました。途中延期もあり五月末まで続き、四月八日の入学式も保護者や来賓の出席もない、入学生と先生だけの形で挙行しました。「緊急事態宣言」は五月二十五日に解除された

ものの、自宅学習の生徒たちは部活動も禁止され、プリントによる家庭学習やA班、B班に分かれた分散登校など、ストレスを抱えた生活を余儀なくされました。

その後、これまで大きな数字が発表されていなかった函館でも、昨年末から今年にかけて高校、大学、福祉施設等で相次いでクラスターが発生し、家庭内感染の恐れから職員室の緊張感も一気に増幅され、実際、PCR検査の結果を待つ身の辛さも経験させられました。

大妻祭、修学旅行、遠足等の様々な行事も中止や自粛に追い込まれました。修学旅行は本来十月の実施でした。三月には落ち着いているだろうと延期しましたが、毎日のように「過去最多を更新」の二コースと、キャンセル料の発生等で止む無く中止を決断しました。高校時代最大の思い出を奪うことになり、こういうのを苦渋の決断というのでしょうか、本当に悩みました。

また、一年に一回、懐かしい顔合わせの同窓会も本部を始め各支

部とも中止になりました。各支部長さんから丁寧な電話がありましたが、声のトーンの低さから無念さが伝わってきました。地球規模でコロナ感染二コース一辺倒の様相を呈している状態では、やむを得ないとはいえ本当に居たたまれない思いでした。

持病のある高齢者ほど、感染リスクや死亡率が高いとも報道されています。昭和二十年生まれの私は、まさにそのリスクの真つたた中にいますが、東京や札幌等への出張も取りやめ、市内での会合にも出席せず、居酒屋はもちろん二次会にもいかず、ひたすら学校と家を往復して、休肝日も作らず、めげずに「家呑み」に徹しています。先輩諸姉も健康に留意されて、

二年後の令和五年十月五日に挙行される「函館大妻高等学校創立百周年記念式典・祝賀会」に、元気に出席して欲しいと思っています。感染経路不明者が増加し、いつどこで誰が感染しても不思議でない状態になってきていますが、大妻魂「不撓不屈の精神」でコロナウイルスに打ち勝って、皆さんと盛大にお祝いしたいと考えています。外山ハツ校長先生も神田マズ子先生もきつと笑顔で出席されます。一緒に前を向いて頑張りましょう。

大妻高校のHPに掲載されました

二〇二〇年五月十二日お知らせ
同窓会から手作り布マスクをいただきました！

五月十二日(火)、同窓会の平田会長と副会長の三井さんが来校され、新入生分のマスク百四十七枚を寄贈していただきました。全学年に手作り布マスクキットと作り方を配布していますが、一年生はまだ授業を十分に行えていないので、自分の力でマスクを製作するのは厳しいのではないかと同窓会からの心遣いによるものです。同窓会の皆さま、ありがとうございます。



1年主任の菊地先生が受け取りました。

愛情たっぷりの手作りマスク

日高支部創立五十五周年のご案内



日高支部長 岡田 代志子
S 48年卒業(旧姓中井)

昨年からの新型コロナウイルスの流行で今までの生活が大きく変わってしまいました。同窓生の皆様お変わりございませんでしょうか。本年度は日高支部創立五十五周年の節目を迎えます。記念の交流会を七月に予定しておりますが、コロナウイルスの感染状況により中止させていただく場合もございます。その時にはご連絡致しますのでよろしくお願い致します。皆様と夏の日高の想い出を作りたく、お一人でも多くの方のご出席を役員一同お待ちしております。

最後になりますが、母校の益々のご発展と同窓会の皆様のご健勝を心よりご祈念申し上げます。

札幌支部会



札幌支部長 岩崎 典子
S 34年卒業(旧姓金山)

皆様お元気ですか。今年の冬はいつもの年より寒い日が続きます。朝晩のきびしさは身にしみております。

先日、本部いとぐるま担当役員さんから連絡が有り、今年も本部同窓会休止とのことでした。残念に思いましたが、コロナウイルスの流行は、日本そして世界中で広まり、自分自身もしっかりと気をひきしめていた昨今であります。

札幌支部同窓会も昨年続き、今年も中止となりましたこと、お知らせ致します。又皆様にお逢いできる日を楽しみに致しております。どうぞよろしくお願い申し上げます。



●日高支部創立55周年記念交流会のご案内

日時 令和3年7月24日(土) 18時より
場所 優駿ビルレジ「アエル」
会費 8,000円(写真代込)
連絡先 岡田代志子(S48年卒業) TEL 0146-28-1837

卒業生の皆様コロナ禍に思う



東京支部長 杉本 幸子
S 33年卒業

沈丁花の花香る季節となりました。卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症終息に依然として目途が立たない状況の中で、学び舎を巣立つ皆様、暖かく三年間ご指導くださった先生、楽しかった文化祭、ファッションショー等の思い出を胸に巣立つてください。

私は八二才になります。若い頃に大病をし全快後、三四才の時再勉強のため上京して学びました。服飾の学校で教員として六五才の定年まで勤め、退職後、リフォーム「お洋服のお直しの会社」に技術者として、また、区立の中学校に生け花指導の講師として今も現役で仕事をしております。卒業生の皆様も健康に注意して、どんな困難なことに遭遇しても必ずや道がひらけることと信じております。「心の糸」を紡ぎ続け、技術教育を旨として歩み続けた、初代校長、外山ハツ先生のお教えを道標として、母校で学んだ知識や技術を手の中にしっかり握りしめ、一歩一歩確実に歩んでいけることを信じて、エールを送ります。

100周年記念誌作成への取材のお願い

前回のおたよりで、別紙にてご案内させていただいておりましたが、令和5年(2023年)、函館大妻高校創立100周年を迎えるにあたり、同窓生の皆さまが脈々と引き継いでこられた大きな歴史と地域社会への功績をぜひ記録に残したく、記念誌を作成したいと考えております。会員の皆さまには大妻高校での思い出をお寄せいただきたく改めてお願い申し上げます。

1. 取材内容 『学園への思い』

- 1) 母校での思い出(先生・授業・部活動・友人・校舎・通学・放課後 など)
※外山ハツ先生に限定いたしません。
- 2) 卒業後に感じたこと
(家庭人として・職業人として・親として など)
- 3) これからの母校に望むこと
(新たな道を・いつまでも など)

2. 取材方法

- 1) 作文 2) 電話 3) メール など

なお、本校では「ものかき工房」の高山潤氏に記念誌作成を依頼しておりますので、取材に関しては、記念誌担当の齊藤賢一と高山氏が共同で行います。

【お問合せ】 函館大妻高等学校 記念誌担当 齊藤賢一 〒040-0002 函館市柳町14番23号
電話:0138-52-1890 FAX:0138-52-1892 電子メール:otsumajh@ms1.ncv.ne.jp

訃報

—ご冥福をお祈りいたします—

今まで母校と同窓会を支え続けてくださり

ありがとうございます。

台掌

令和2年7月11日ご逝去
関本トキさん
特別会員

令和2年10月12日ご逝去
矢萩美津子さん
S29年卒業



母校創立百周年記念事業寄付金ご芳名一覽

(敬称略・五十音順)

百周年に向けてご寄付いただき、心より感謝申し上げます。
今後とも皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

寄付 二〇一八年四月一日から二〇二二年三月三十一日まで

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-------|--------|
| 相坂 紀子 | 岡田代志子 | 小中 七海 | 園田テル子 | 西川 和子 | 三井 幸子 |
| 青山 悦子 | 岡部 レイ | 小林 まみ | 高田 明乃 | 西本 千春 | 宮本 和子 |
| 赤川 洋子 | 奥成 友美 | 小林 良子 | 高野 恵子 | 濱野セイ子 | 最上 テル |
| 赤沼 信子 | 小田 悦子 | 小松 ヒロ子 | 高山 トモ | 林 那々子 | 森 真知子 |
| 明戸李里香 | 小野 幾子 | 小松 八重 | 滝本 和子 | 林 幸子 | 森 真由美 |
| 阿部 幸子 | 小野 千佳子 | 齊藤 弘子 | 武田夕ミ子 | 播磨 正子 | 柳谷 智子 |
| 阿部 範子 | 尾山久美子 | 境谷 之江 | 竹中 恵子 | 平田 優子 | 矢萩美津子 |
| 荒木 伴子 | 加賀谷美江子 | 佐々木三枝子 | 谷口 幸 | 廣井 瑞歩 | 山内セイ子 |
| 荒木ヨリ子 | 加賀谷ヤエ子 | 笹森 美絵 | 谷藤 ナミ | 廣土 律子 | 山加 キエ |
| 荒谷 久美 | 嘉義 淳子 | 笹谷 遥奈 | 田原 玉 | 福土 和子 | 山川 貴未子 |
| 安藤工ツ子 | 金子 梨枝 | 佐藤 栄子 | 玉利 晴美 | 藤本美智子 | 山口 園子 |
| 安藤 和子 | 上井 順子 | 佐藤 七子 | 塚田 英子 | 古川 和子 | 山口 園子 |
| 五十嵐由佳 | 上村 澄子 | 佐藤 真由美 | 津坂 澄子 | 古川 夕姫 | 山下 幸子 |
| 池田 靖子 | 神谷 菊枝 | 佐藤 ミエ | 土谷 敏子 | 北條 和子 | 山下 民子 |
| 石栗美津子 | 神谷 慶子 | 佐藤 悠乃 | 筒井 玲子 | 星野 妙子 | 山貫 ヨコ |
| 市川 紀子 | 神谷 重子 | 澤田美美子 | 釣谷千鶴子 | 本間 節子 | 山本 順子 |
| 伊藤 良子 | 上山 幸子 | 塩川みつえ | 手代森捺音子 | 前側 榮子 | 山本 直子 |
| 岩崎小紀子 | 亀井 晴江 | 穴戸富美子 | 土居 祥江 | 前田 久子 | 矢本 敦子 |
| 岩崎 典子 | 川原 ヒサ | 菅原 智子 | 殿村由紀子 | 松岡美喜子 | 吉田 富子 |
| 岩澤まり子 | 神田千鶴子 | 菅原 智子 | 巴 正子 | 松田たゐ子 | 吉田 康子 |
| 海老原久美子 | 木立 真理 | 菅原 智子 | 中内ツヤ子 | 松永真由美 | 吉田 富子 |
| 遠藤ハツミ | 北山 敏子 | 菅原 智子 | 中庭 幸子 | 馬村久美子 | 吉本 京子 |
| 大木キヨミ | 木村八重子 | 砂田 智美 | 永幡フミエ | 丸山 愛子 | 四ツ柳光子 |
| 大坂 克子 | 黒谷 淳子 | 砂田 智美 | 長浜真由美 | 三浦久美子 | 米内沢真衣 |
| 大田 幸美 | 小坂ユリ子 | 関口 信子 | 中村 洋子 | 水上力子 | 米澤 英子 |
| 大道 妙幸 | 小坂 麗子 | 勢田 康子 | 成田 千紘 | 水澤 慶子 | 脇本 テイ子 |
| 岡田智恵子 | 越山 智恵 | 相馬 秀子 | 西川アサ子 | 水谷 成子 | 以上 |

トピックス

家政科

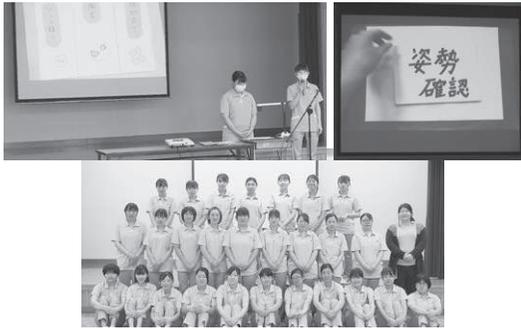
令和二年十一月十四日(土)、函館市芸術ホールにおいて、第8回家政科学習報告会が開催されました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策という制約がある中で学習成果の発表となりました。内容はファッションショー、劇、ピアノ演奏、歌唱など、日頃授業の中で取り組んでいることを生徒は緊張した中、保護者の方をはじめ、来場者の前で披露することができ、大変貴重な体験ができました。この大舞台での発表は、生徒を一回りも二回りも成長させてくれる毎年恒例の特別な行事となっています。



福祉科

今年度の介護実習体験報告会はコロナ禍の影響により、発表は一学年ずつビデオ撮影をして、各教室で視聴するという形式をとりました。例年は福祉科全クラスが集まる講堂で、密を避けた発表となりましたが、生徒は実習現場での体験を臨場感あふれる演出で発表しました。

これまではステージ上での発表を観覧する形式でしたが、今回はビジュアルプレゼンター(実物投影機)を活用して、言葉や文章のカードをスクリーンに投影させて、視覚に訴える発表もありました。感染症拡大を機に、多くの分野で新しいスタイルが検討・実施されています。介護実習発表会の方法も時代や社会の状況の変化により、良い意味で発表方法を再考する契機となりました。



食物健康科

令和三年一月三十日(土) 食物健康科三年生が、お世話になった先生方へ三年間の感謝の気持ちを込めて、日本料理を振る舞いました。今年は開催できるかどうかの瀬戸際でしたが、先生方の温かいご協力のお陰で何とか実施することができました。学科の先生方は「気持ちを伝えるためには、その日だけきちんとすれば伝わるのではない。普段の振る舞いが料理を通じて現れるもの」と厳しく指導しています。自分たちの普段の生活から見直さなければいけないと気付いた生徒たちは、開催できることを信じ、クラス一丸となって取り組んできました。本番ではみんな声掛け合い、心を一つにすることができました。先生方からもお礼や励ましの言葉をいただき、生徒は達成感に満ち溢れた一日となりました。



普通科

今年度より進学者希望者を対象とした「アドバンス」という科目が導入されました。従来は、中学校での躰きや理解できなかった知識を学び直すことに重点を置き、チーム・ティーチングを通じて生徒に寄りそう授業を行ってきました。次の段階として、進学を希望する生徒に特化した科目の導入を検討し、タブレットの導入を通じて生徒の実態に合わせた授業を行うことにしました。各目的教室をはじめ各教室にもWi-Fiの環境が整い、4月より「ラインズドリル」という教材を使用しタブレットを用いて授業を行います。

今後、令和四年度より始まる新カリキュラムで本格的に普通科の改革が始まり、より生徒の実態に合わせたコース制の授業が始まる予定です。多様化している生徒一人ひとりの状況とニーズに合わせた教育を行うことにより、さらなる普通科の底上げを行っていくこととなります。



アドバンスの様子

同窓会行事中止のお知らせ

- ・令和3年度 同窓会総会・親睦会は、「新型コロナウイルス」感染拡大防止のため、大変残念ですが、中止といたします。
- ・5月 札幌支部会 …… 中止します。
- ・6月 東京支部会 …… 中止します。
- ・大妻祭 …… 同窓会は、不参加といたします。
- ・手づくり会 …… 当分の間、活動休止といたします。

「年会費」のお願い

年会費は「いとぐるま」の郵送や各支部助成金等に充てられます。本年度も多くの方々のご協力・ご送金をよろしくお願いいたします。

◆◆◆ 年会費集計状況 ◆◆◆

皆様のご協力ありがとうございます

令和2年度
168,000円
(令和2年12月31日現在)

●編集委員

大田幸美 平田優子

川原ヒサ 本間節子

齊藤賢一 三井幸子

普通科 倉物健康科 家政科 家政科 福祉科
坂田 木島 丸谷 松井 柴田
美咲 美月 愛白 華梨

幹事 常任幹事

☆令和三年卒業 同窓会幹事☆

令和元年度 函館大妻高等学校同窓会収支決算書

(令和元年4月～令和2年3月)

【収入の部】

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減
1 維持費	1,029,600	1,006,600	△ 23,000
2 入会金	141,000	140,000	△ 1,000
3 年会費	250,000	177,000	△ 73,000
4 福利厚生事業収益金	100,000	129,506	29,506
5 預金利息	5	6	1
6 雑収入	0	0	0
7 前年度繰越金	431,739	431,739	0
合 計	1,952,344	1,884,851	△ 67,493

【支出の部】

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減
1 総会費	50,000	50,000	0
2 会議費	5,000	0	△ 5,000
3 事務費	25,000	12,000	△ 13,000
4 会報発刊	250,000	214,435	△ 35,565
5 活動費	50,000	57,503	7,503
6 慶弔費	120,000	103,500	△ 16,500
7 出張費	150,000	153,180	3,180
8 支部助成金	240,000	239,900	△ 100
9 記念品	150,000	140,880	△ 9,120
10 積立金	600,000	600,000	0
11 予備費	312,344	3,738	△ 308,606
12 次年度繰越金	0	309,715	309,715
合 計	1,952,344	1,884,851	△ 67,493

※会計監査実施の日程上、前年度の収支決算書を掲載

●編集後記
今年も「いとぐるま」を休むことなく同窓生の皆様へお届けできたことを感謝したいと思えます。お家時間が増えたので、マスク作り、断捨離、小さなリフォームとめずらしく世の中の流行に乗った一年を過ごしました。話したい事もたくさんあります。早く会って「おしゃべり」がしたい!!来年こそ、親睦会が開かれることを心より願っております。(大田 記)

感謝をこめて



本年度、年会費や寄付金を送金して下さった同窓生の皆様には「手作りマスクとマスクケース」を同封させていただきました。マスク内側のWガーゼとマスクゴムは抗菌のものを使用しております。どうぞお受け取りください。